令和２年度用小学校音楽

───────────────────────　年間学習指導計画作成資料　更新版（2020.5.22）───────────────────────

株式会社 教育芸術社

【本資料５月22日更新版について】

３月26日，国立教育政策研究所のホームページに，『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。

その内容を踏まえて，以下，２点を変更のうえ，更新版をアップいたします。

１．「学習指導要領の内容との関連」の◎と○の示し方について

弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において，

各題材は，「何を中心に学習し，どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材が配列されています。

したがいまして，「Ａ表現」⑴歌唱，⑵器楽，⑶音楽づくりのア，イ，ウの各事項，「Ｂ鑑賞」のア，イの指導事項は，

各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり，ときに往還し関連しながら，指導されるように配慮されています。

また，学期ごとや１年間を通して，各観点がバランスよく位置付けられ，題材間の関連が図られているか，という視点にも配慮しています。

それらを踏まえ，別資料「指導計画案」との関連がより明確になるように，◎と◯の示し方を，下記のとおり変更いたしました。

■当初アップした資料：各教材の学習において中心となる指導事項を◎で示し、関連する指導事項を○で示す

　　　↓

■今回の更新版：【評価に関わっている】指導事項を◎で示し，それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で示す

また，下記の教材については，

別資料「指導計画案」において，評価の観点を追加したため，本資料には「◎」が追加されています。

■「まほうの音楽」

２．題材から独立された歌唱共通教材について

「楽曲による題材」と捉え，当該楽曲の学習の位置付けを示し，指導事項アイウが網羅できるよう，評価の観点を加えました。

【本資料について】

・本資料は，教育芸術社発行の令和２年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１〜６〈102〜602〉」に基づいて作成されています。

【題材の目標の書き方について】

・各学年の題材の目標は，学習指導要領（平成29年告示）に示されている，育成を目指す資質・能力の三つの柱，

　（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

　（２）「思考力，判断力，表現力等」の育成に関する目標

　（３）「学びに向かう力，人間性等」の涵養に関する目標

　の視点に基づいて作成しています。

　（１）について，文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を，後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【指導する月の目安について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。２学期制と３学期制それぞれ示しておりますので，各校の実態に応じて，指導される月や学期を調整のうえ，ご活用ください。

　（※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については，

弊社HPの「臨時休校に伴う４月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。）

【扱い時数の目安について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し，各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで，扱い時数を設定しています。

・巻末教材に配当された時数については，巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や，授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて，扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては，『国歌「君が代」は，いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい，各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について】

・太字で示されたものは，題材内で中心となる音楽を形づくっている要素になります。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第３学年　年間学習指導計画作成資料 | | | | | | | | 学習指導要領の内容との関連（ア：思考力，判断力，表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【第３学年及び第４学年 目標】  (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに，表したい音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，音楽づくりの技能を身に付けるようにする。  (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや，曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。  (3)進んで音楽に関わり，協働して音楽活動をする楽しさを感じながら，様々な音楽に親しむとともに，音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | | | | | | | | Ａ表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | Ｂ鑑賞 | | 〔共通事項〕 | |
| 扱い月  の  めやす | | 扱い時数 | 題材名 | | 題材の目標  (1)「知識及び技能」の習得  (2)「思考力，判断力，表現力等」の育成  (3)「学びに向かう力，人間性等」の涵養 | 学習目標 | 教材名  ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり  **♪**…鑑賞　(共)…共通教材 | 歌唱 | | | | | 器楽 | | | | | | 音楽づくり | | | | | | 鑑賞 | |
| 合計60 | ア | イ | ウ | | | ア | イ | | ウ | | | ア | | イ | | ウ | | ア | イ | ア 音楽を形づくっている要素 | イ 音符，休符，  記号や用語 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) |
| ４ | ４ | ２ | 1.  音楽で  心をつなげよう | | (1)歌詞の内容，旋律，リズムや拍と曲想との関わりについて気付き，自然で無理のない声で歌ったり友達とリズムをつなげて演奏したりする技能を身に付ける。  (2)歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や，手拍子のリズムの選び方を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもつ。  (3)友達と声を合わせて歌ったり，手拍子のリズムをつなげたりする学習に進んで取り組み，友達と協働して音楽活動する楽しさを味わう。 | ・友だちへの思いをこめて歌いましょう。 | ○友だち | ◎ | ◎ |  | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | リズム  旋律  拍 |  |
|  |  |  | (そだてよう)リズムでなかよくなろう |  |  |  |  |  | ○ | ○ |  |  |  | ○ | ○ |  |  | ○ | ○ |  |  |  |
|  |  | ６ | 2.  歌って  音の高さを  かんじとろう | | (1)旋律や音階などと曲想との関わりについて気付き，ハ長調の楽譜を見て演奏したり呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする技能や，即興的に旋律をつくる技能を身に付ける。  (2)ハ長調の読譜を習得したり旋律の特徴を生かしたりしながら，どのように表現するかについて思いや意図をもつ。  (3)友達と一緒に声や音を合わせて表現したり聴き合ったりしながら，音の高さを感じて表現する学習に進んで取り組む。 | ・音の高さに気をつけながら，歌ったりひいたりしましょう。 | ○◇ドレミで歌おう | ○ | ○ | ◎ |  |  | ○ |  | ○ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  旋律  音階  拍  音楽の縦と横との関係 | ト音記号  五線と加線  縦線  終止線  小節  ブレス |
|  |  | ・音の高さに気をつけて，明るい声で歌いましょう。 | (共)春の小川 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ | ５ | ・楽器と合わせて，明るい声で歌いましょう。 | ○◇海風きって | ◎ | ○ |  | ○ | ○ | ◎ | ○ |  | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ☆せんりつづくり |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  | ◎ | ◎ |  |  |  |
|  |  | ２ | ＊「茶つみ」は，学習内容や季節を考慮し，５月に「心の歌」として  　歌えるように示しています。 　また，前題材の「春の小川」と比較しながら曲想にふさわしい表現の工夫を  　したり，拍にのって歌ったりする学習を生かして，  　題材４，６の学習と関連付けることができます。 | | | ・曲のかんじを生かして歌いましょう。 | (共)茶つみ | ◎ | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 旋律　拍 |  |
| ６ | ６ | ６ | 3.  リコーダーの  ひびきを  かんじとろう | | (1)リコーダーの音色などと曲想との関わりについて気付き，リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付ける。  (2)リコーダーの演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，どのように演奏するかについて思いや意図をもったり，リコーダーの響きと曲想との関わりについて考え，曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)リコーダーの演奏に興味・関心をもち，互いの音を聴き合いながら演奏する学習に進んで取り組む。 | ・リコーダーに親しみましょう。 | **♪**ピタゴラスイッチ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | 音色  リズム  旋律 | 付点２分音符  付点４分音符 |
|  |  | **♪**小鳥のために |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
|  |  | ・リコーダーのえんそうのしかたをおぼえましょう。  ・リコーダーで**シ**の音をふきましょう。 | ◇練習１・２・３・４(シ) |  |  |  |  |  | ○ |  | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・**ラ**と**ソ**の運指をおぼえて，きれいな音でふきましょう。 | ◇練習１（シ・ラ）／練習２（シ・ラ・ソ）／  　きれいな ソラシ |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | **♪**きらきら星 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ○ |
|  |  | ・歌うようにリコーダーをふきましょう。 | ◇坂 道／雨上がり／  　アチャ パチャ ノチャ |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ７ | ７ | ５ | 4.  拍にのって  リズムを  かんじとろう | | (1)拍子やリズムの特徴などと曲想との関わりについて気付き，拍にのって表現する技能や，反復や変化を用いてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。  (2)拍子やリズム，旋律の特徴を捉えた表現や，どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて，思いや意図をもつ。  (3)拍子やリズムの特徴が生み出すよさや面白さを感じ取り，それらを生かして表現したり，友達と協働してまとまりのあるリズムをつくったりする学習に進んで取り組む。 | ・２拍子にのってえんそうしましょう。 | ◇○ゆかいな木きん | ○ | ◎ |  | ○ | ○ | ◎ | ◎ |  | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  | リズム  旋律  拍  反復  変化 | ４分の２拍子 |
|  |  | ・くりかえしや変化を使って，  　まとまりのあるリズムをつくりましょう。 | ☆手拍子でリズム |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ |  | ◎ | ○ | ◎ |  |  |
| ９ | ９ | １ | ＊「うさぎ」は，学習内容や季節を考慮し，９月に「心の歌」として  　歌えるように示しています。 | | | ・日本に古くからつたわる曲のふんいきをかんじとって  　歌いましょう。 | (共)うさぎ | ◎ | ◎ |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 旋律 |  |
|  |  | ７ | 5.  せんりつの  とくちょうを  かんじとろう | | (1)音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴，拍子や強弱と曲想との関わりについて気付き，それらを生かすために必要な表現の技能を身に付ける。  (2)旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて考え，声の強さや出し方を工夫したりフレーズを意識したりしながら，どのように表現するかについて思いや意図をもつ。  (3)旋律の特徴を生かした表現を工夫しながら，友達と協働して表現する学習に進んで取り組む。 | ・せんりつの音の上がり下がりをかんじとって  　歌いましょう。 | ○とどけよう このゆめを | ◎ | ◎ |  | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |  | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  | 旋律  強弱  拍  フレーズ | ４分の４拍子４分の３拍子タイ |
|  |  | ・せんりつのとくちょうを生かして  　えんそうしましょう。 | ○◇あの雲のように | ◎ | ◎ |  | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  | ・曲の山をかんじながら歌いましょう。 | (共)ふじ山 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 10 | ６ | 6.  曲のかんじを  生かそう | | (1)音色，リズム，旋律や歌詞の内容と曲想との関わりについて気付き，それらを生かして表現するための技能を身に付ける。  (2)楽器の音色，旋律の反復や変化が生み出す曲のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり，曲の特徴を捉えた表現について思いや意図をもったりする。  (3)楽器の音色，旋律の反復や変化が生み出す曲想の違いを味わって聴いたり，曲想にふさわしい表現の仕方を工夫して歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組む。 | ・曲のかんじを味わってききましょう。 | **♪**メヌエット |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色  リズム  旋律  反復  変化 | 全音符 |
|  |  | ・曲のかんじに合ったふき方をくふうして  　えんそうしましょう。 | ◇山のポルカ／練習(ソ・ファ・ミ) |  |  |  |  |  | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 | 11 | ・歌詞の表す様子を思いうかべなから，  　曲のかんじを生かして歌いましょう。 | ○帰り道 | ◎ | ◎ |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ９ | 7.  いろいろな  音のひびきを  かんじとろう | | (1)楽器の音色やその組合せ，旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き，楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり，楽器の組合せや音の重ね方を生かして音楽をつくったりする技能を身に付ける。  (2)楽器の音色や旋律の特徴が生み出すよさなどを見いだしながら聴いたり，楽器の音色を生かした演奏の仕方や，音の重ね方や反復など音楽の仕組みを用いた音楽のつくり方について，思いや意図をもったりする。  (3)楽器の音色や旋律の特徴に着目し，曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたり，楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり，楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったりする学習に進んで取り組む。 | ・トランペットとホルンのひびきに親しみましょう。 | **♪**トランペットふきの休日／アレグロ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | 音色  旋律  強弱  音の重なり  拍  反復 |  |
| 12 | 12 | ・重なり合う音のひびきをかんじとりながら  　えんそうしましょう。 | ◇パ フ |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。 | ○おかしのすきな まほう使い | ○ | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。 | ☆まほうの音楽 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |
| １ | １ | ５ | 8.  ちいきに  つたわる音楽で  つながろう | | (1)日本の楽器の音色やリズムなどと曲想との関わりについて気付き，即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付ける。  (2)日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を聴いたり，旋律の音の動きや始め・終わりの音に着目した旋律のつくり方について思いや意図をもったりする。  (3)祭り囃子を聴いたり，友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して，郷土に伝わる音楽や楽器の音への興味・関心を高める。 | ・祭りばやしに親しみましょう。 | **♪**祇園囃子／ねぶた囃子 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ | 音色  リズム  速度  旋律  拍  呼びかけとこたえ |  |
|  |  | ・祭りばやしのとくちょうをかんじとりましょう。 | **♪**神田囃子「投げ合い」 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | (チャレンジ)たいこにちょうせん！！ |  |  |  |  |  | ○ |  | ○ |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ | ２ | ・３つの音で，おはやしのせんりつをつくりましょう。 | ☆ラの音でせんりつづくり |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ○ |  | ◎ | ◎ |  |  |  |
|  |  | ７ | 9.  音の重なりを  かんじて  合わせよう | | (1)旋律の重なりや特徴，強弱，フレーズなどと曲想との関わりについて気付き，それらを生かした歌い方や演奏の仕方の技能を身に付ける。  (2)旋律の重なりや特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもったり，旋律の反復やその重なりが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)友達と声や音を合わせて表現の仕方を工夫したり，旋律が重なり合うよさなどを感じて聴いたりする学習に進んで取り組む。 | ・せんりつの重なりを楽しみながら，  　歌ったりきいたりしましょう。 | ○歌おう 声高く | ○ | ◎ |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  旋律  強弱  音の重なり  フレーズ  反復 |  |
| ３ | ３ | **♪**か ね |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら  　合奏しましょう。 | ◇エーデルワイス |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 年間 | | ４ | 巻末 | 歌いつごう 日本の歌 | | 世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 | ゆりかごの歌／七つの子／どこかで春が | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 全般 |  |
| みんなで楽しく | | 各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。 | こころパレット  おはよう おはよう  に じ  ゴー ゴー ゴー  また あそぼ  Head, Shoulders, Knees And Toes  ゆかいなまきば  よろこびの歌  ミッキーマウス マーチ | ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ | ○  ○  ○  ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※国歌「君が代」の指導については，各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。 | | | | | | | 国歌「君が代」 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |